

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長 兼院内感染対策室長兼産業医	倭 正也
膠原病内科部長 兼リウマチセンター長	入交 重雄
医 長	三島 伸介
医 長	木下 真孝
副医長	葛城 有希子
副医長	藤岡 研
非常勤医員	関 雅之

膠原病内科

—概要—

不明熱や関節痛を主訴に総合内科・感染症内科外来受診となる症例には膠原病疾患と診断される場合もしばしばあり、総合内科・感染症内科全スタッフが診療を行っている。特に週2回の膠原病内科専門外来では関節リウマチを中心とした幅広い膠原病疾患に対する診療を行っている。

関節リウマチにおける臨床症状の軽減、関節破壊の進展阻止、身体機能の改善の極めて高い有効性を示す生物学的製剤を積極的に使用し関節リウマチの治療にあたっている。また、関節エコー検査を行い、関節リウマチの診断や治療効果判定に役立っている。関節リウマチ以外の膠原病内科診療中の膠原病には以下の疾患がある。全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、シェーグレン症候群、多発性筋炎・皮膚筋炎、ベーチェット病、リウマチ性多発筋痛症、再発性多発軟骨炎、混合性結合組織病、血管炎症候群、脊椎関節症、RS3PE、成人スティル病、強直性脊椎炎、悪性関節リウマチなど。

当院は、日本リウマチ学会教育施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本整形外科学会認定制度研修施設、日本リハビリテーション医学会研修施設である。

—実績—

2015年度 膠原病内科 初診

病 名	件数
関節リウマチ	35
シェーグレン症候群	22
全身性強皮症	18
リウマチ性多発筋痛症	13
全身性エリテマトーデス	9
RS3PE	8
脊椎関節炎(乾癬性・強直性脊椎炎含)	7
サルコイドーシス	6
結晶誘発関節炎	5
皮膚筋炎/多発性筋炎	4
成人スティル病	3
線維筋痛症	3
ベーチェット病	2
シェーンライン・ヘノッホ紫斑病	1
家族性地中海熱	1
後腹膜線維症	1
抗リン脂質抗体症候群	1
血管炎症候群	1
壊死性筋膜炎	1
その他	45
合 計	186

—今年度の成果と反省点—

関節リウマチのみならず様々な膠原病の診療を今年度も継続した。膠原病外来での診療患者数が前年度に比し増加した。前年度の日本内科学会近畿地方会において口演発表した当科経験症例演題が推薦を受け、来年度の日本内科雑誌に掲載されることになった。

—来年度への抱負—

今後も関節リウマチ含む幅広い膠原病の診療を通じて地域医療に貢献したい。また、診療のみならず、活発な研究活動を目指す。